



南葵音楽文庫ミニレクチャー

南葵音楽文庫と日本人作曲家の作品

～失われた楽譜をもとめて・小松耕輔と山田耕筈～ 林 淑 姫

2018年6月9日(土) 11:00

南葵音楽文庫閲覧室(和歌山県立図書館内)

南葵音楽文庫

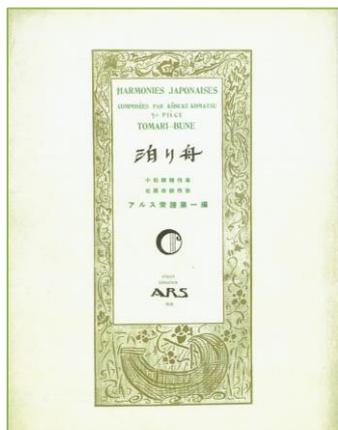
和歌山県立図書館内

和歌山市西高松 1-7-38

tel.073-436-9500



1920(大正9)年に刊行された南葵文庫の楽譜蔵書目録には、ベートーヴェンやヴァーグナーをはじめとする西洋の作曲家の楽譜のほか、日本人作曲家の作品がおおよそ100点収められていました。小山作之助(1864-1927)や多梅稚(1869-1920)など明治の唱歌作品もありますが、明治期後半から大正期に活躍を始めた若き日本の作曲家たち、小松耕輔(1884-1966)、本居長世(1885-1945)、沢田柳吉(1886-1936)、山田耕筈(1886-1965)、松島彝(1890-1985)たちの作品も見られます。それらの多くは散逸し、現在蔵書中には見られません。南葵が所蔵していた楽譜を探索し、彼らの当時の作品を検証します。今回は徳川頼貞の学習院時代の音楽の師であり、作曲とともに活発な文筆活動によって当時の楽壇を牽引していた小松耕輔と、音楽の前衛としてさまざまな分野で活躍し、日本近代音楽史に輝かしい足跡を残した作曲家山田耕筈を紹介します。



小松耕輔(1884-1966)

「泊り舟 La Bateau amarré」 北原白秋
作歌

東京 アルス 大正8(1919).10

4 p. 32 cm. (アルス楽譜第1編)

歌曲(ピアノ伴奏)

歌詞日本語(ローマ字表記並記)

フランス語対訳付

(明治学院大学図書館附属日本近代音楽館蔵)



山田耕筈(1886-1965)

「Variationen(主題と変奏)」

東京 東京音楽学校学友会 大正4(1915).7

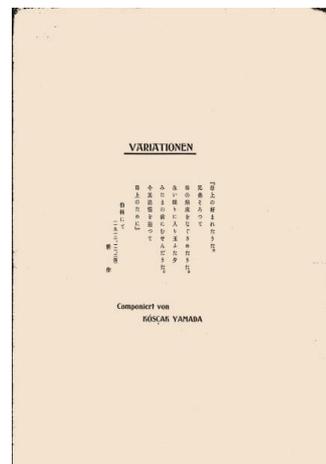
[8] p. 32 cm.

東京音楽学校学友会誌『音楽』第6巻第7号

附録

ピアノ独奏曲

(明治学院大学図書館附属日本近代音楽館蔵)



主な参考文献

小松耕輔著『音楽の花ひらく頃 わが思い出の楽壇』
(音楽之友社 1952)

山田耕筈著『山田耕筈著作全集』(岩波書店 2001)